日本の世界遺産味めぐり

ひらいずみーぶっこくど じょうど あらわ けんちく ていえん - 平泉 - 仏国土(浄土)を表す建築・庭園

およ こうこがくてきいせきぐん 及び考古学的遺跡群 -

せれ遺産とは

せかいじゅう ひと たからもの 世界中の人たちの宝物とまも ひっょう して守っていく必要のあるたいせつ ぶんかざい たてもの しぜん大切な文化財(建物)や自然の



もうつうじ ほんどう毛越寺・本堂



Oblita la t もの 平泉 お花と食べ物

ひらいずみ - ぶっこくど じょうど あらわ 「平泉・仏国土(浄土)を表す けんちく ていえん お よこうこがくてきいせきぐん 建築・庭園及び考古学的遺跡群」

平泉の浄土庭園は、庭や建物などその空間すべてに思想が表現されています。今も儀式や民俗芸能として受け継がれていることが認められて、2011年に世界遺産として登録されました。



栽の花ごはん

でいては、 平泉には四季折々の花を たのしたはいっすが植えられています。 きまっすがいでは、 教には世界遺産の毛越寺で萩祭りが開かれ、紫色の萩が花ざかりで す。紫黒米のごはんは萩の花によく 似た色です。



なんぶとり はす **南部鶏と蓮のあまから**



ひつつみ汁

ひつつみは、 たんご 小麦粉の団子を ひつつまんで汁 に入れて作る といってけん 岩手県の郷土 男より 料理です。



大文字 りんご

平泉は 大文字りんご の産地です。